



# パース通信



Vo.7

今年度1年間交換教員として、オーストラリアのパースに赴任している英語科伊東が、オーストラリアや海外から見た日本についてお伝えします。

さて、皆さん。Vol.7は、「Perthでのリアルな生活2と公共の交通機関」についてお伝えしようと思います。

Vol.6では高校生のみなさんがホームステイを実際にすることを想定して役に立ちそうな情報をお届けしましたが、今回は私が実際に生活している様子をお届けしようと思います。

パースで生活を始めたときに最初に感じたことは、「お店が閉まるのが早い」ということでした。私の住んでいる近くの大型ショッピングモールは、平日は5時半には大半のお店が閉まります。買い物をしたくても、平日にはたいてい間に合いません。仕事が終わってからゆっくり見るなどという時間はありません。そうすると買い物は週末にすることになるのですが、土曜日は9時から17時まで、日曜日は11時から17時までです。ただ、木曜日には21時まで開いていますので、その日にゆっくり食品などを買うということになります。ですから、写真のように買いだめをするようになるのです。一度の買い物でこれだけの量を買います。



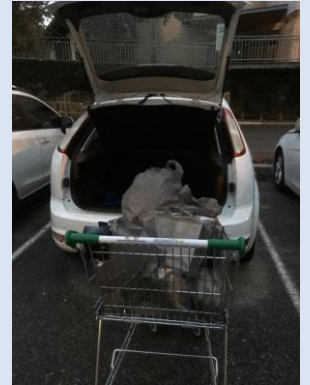
欧米では、長時間お店を開けるということが法律で認められていません。消費者からすると一見不便なようですが、働く側からすると非常に助かります。自然と長時間労働にならないように配慮がなされているのですね。

ワークライフバランスという言葉を知ったことがあるかと思いますが、こうした商習慣からプライベートの時間を大切にす文化がよくわかります。

みなさんはコストコに行ったことはありますか？なんであれだけ量が多いんだ！と思ったことはあるでしょう。その理由がもうおわかりかと思いますが。ただ食いしん坊だからではないのです。



一度に大量の買い物をしますから、車まで大きなショッピングカートを押していくことになります。車を日本のように停めてしまうとトランクに荷物を入れることが難しくなります。ですから、オーストラリアでは9割5分以上の車が前向き駐車をしています。ちゃんと理由があるのですね。



不便だと思いかもかもしれませんが、生活リズムを日本と変えてしまえばそれほど不便を感じたりはしません。今は慣れてしまったので、次の買い物には、あれを買おうなどと考えるようになりました。日本でももっと働く人のために営業時間を短くすればよいと思います。

さて、公共の交通機関についてです。田舎に行くと公共の交通機関はバスしかなく、時間が遅れる、本数が少ないなどの理由で、車がないと生活しにくい状況です。

一方、都会のパースでは電車とバス、そしてフェリーが運行されています。私はバスと電車を乗り継いで通勤



していますが、とても便利です。大きな通りのバス停ですから通勤時間帯には10分も待たずにバスが来ます。左の写真がバス停です。バスが来たら運転手さんに合図を出さないと止まってくれません。気をつけてくださいね。私は一度、本を読んでバスが来ているのに気付かず、目の前を通り過ぎて行かれたことがあります。

また、車内アナウンスは一切ありません。ですからここで降りるのかを確認しておかないと、降りたいところで降りられません。といっても、バス停一つ分くらいは歩いて大丈夫なので、何事も経験してみましょう！積極的に活用してみてくださいね！

次回の通信は、「オーストラリアの通信環境について」をお届けしようと思います。